横 浜 市 記 者 発 表 資 料

令和元年 11 月 28 日
政 策 局 政 策 課

横浜発！

海洋分野の研究×ビジネスの最前線！

「海と産業革新コンベンション（うみコン 2020）」事前登録開始！

横浜市では、「海洋都市横浜」を掲げ、都市の活性化や魅力づくりに取り組んでいます。

このたび、海洋分野の産業振興やビジネス創出を目的とした「**海と産業革新コンベンション（うみコン 2020）～横浜発！対話と交流による新たな海洋産業の創出～**」を来年 1 月 29 日に開催します。

海洋分野は、日本近海の海底資源開発、洋上風力発電・海流発電等の再生可能エネルギーをはじめ、まだまだ多くの可能性を秘めた分野であり、様々な研究や技術開発が行われています。

３回目となる今回は、会場を「横浜市開港記念会館」に変更し、**シンポジウム**を中心に、企業等からの**パネル展示**、さらには**ビジネスマッチングイベント**を開催し、最先端の研究成果、技術、情報を発信し、対話と交流による新たなビジネス機会の創出を図ります。

本日 11 月 28 日より、参加者の事前登録を開始しますので、情報収集や新たな連携、ビジネスのきっかけづくりに是非ご参加ください。

1　開催概要　※詳細は添付のリーフレット参照

（１）開催日時：令和 2 年 1 月 29 日(水) 10 時～17 時
（２）会場：横浜市開港記念会館
（３）主催：海洋都市横浜うみ協議会、横浜市、
　　海と産業革新コンベンション実行委員会
（４）協賛：セア・プラス／マリン・ワーク・ジャパン／横河電機
（５）協力：横浜企業経営支援財団（IDEC 横浜）
（６）会場構成　シンポジウム／パネル展示／ビジネスマッチングイベント

2　主な内容

シンポジウム

●**基調講演**：海洋に関する政策・研究・技術開発などの今後の展望についてキーパーソンが登壇。

我が国の海洋政策について（仮）
＜講演者＞内閣府　総合海洋政策推進事務局長
　　平垣内　久隆様

日本における洋上風力発電の役割
＜講演者＞一般社団法人　日本風力発電協会　代表理事
　　加藤　仁様

海上技術安全研究所における洋上風力発電への取組み
＜講演者＞海上・港湾・航空技術研究所
　　海上技術安全研究所 研究特命主管 黒岩　隆夫様

●**３国研シンポジウム**：海洋分野で我が国を代表する３つの国立研究開発法人※から、ビジネスの種となる最新の研究内容を発表。

テーマ：**海中ロボティクス（仮）**
　　船舶に関する最新技術の紹介（仮）
　　水産海洋センシングと AI による漁場・海況予測（仮）

※海洋研究開発機構/水産研究・教育機構/海上・港湾・航空技術研究所

パネル展示（23 団体）

研究機関・企業等が最新の研究成果や技術・製品等を展示・発信。

・洋上風力発電、海流発電等の再生可能エネルギー
・深海資源探査技術開発の取り組み
・水中作業ロボット
・ICT の活用による水産資源管理
・新たな船舶技術　　など

ビジネスマッチングイベント

参加企業からニーズやシーズについての提案を受けて、新たな出会いの場の創出や連携に繋げます。

＜参加企業等＞
IHI、横河電機、横浜市立大学、ﾄﾞｺﾓ CS、ｾｱ･ﾌﾟﾗｽ、SIX VOICE、ﾏﾘﾝ･ﾜｰｸ･ｼﾞｬﾊﾟﾝ、ﾄﾘﾏﾃｨｽ、
戦略的ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ創造ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ（SIP）革新的深海資源調査技術

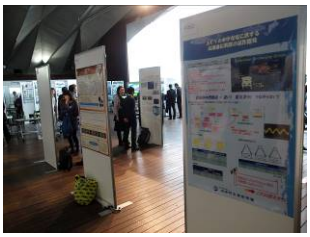
裏面あり

3　昨年度実績

・名称：海と産業革新コンベンション（うみコン 2019）
・日時：平成 31 年 2 月 20 日(水)・21 日(木)の 2 日間
・会場：大さん橋ホール
・参加者数：約 2,000 人

うみコン 2019 の様子（2 月 20・21 日）

セッション会場


パネル展示

4　海洋都市横浜うみ協議会の概要

【設　　立　　日】平成 27 年 9 月 28 日
【名誉会長・会長】名誉会長　：　林　　文子　横浜市長
会長　　：小林　一美　横浜市副市長
【設　立　目　的】協議会参加企業・団体の皆様と議論しながら、
産官学連携により次の取組を進めます。
ア　海洋に関する活動の総合的な情報発信　　イ　市民の海に関する理解・関心の向上
ウ　海洋環境の保全　　エ　海洋産業の振興

【協議会参加企業・団体（順不同）：33 団体】
（国研）海洋研究開発機構（JAMSTEC）、（国研）水産研究・教育機構、
（国研）海上・港湾・航空技術研究所（海上技術安全研究所、港湾空港技術研究所）、
（独）海技教育機構、（公財）帆船日本丸記念財団、
横浜国立大学、東京海洋大学、横浜市立大学、神奈川大学、東京大学生産技術研究所、
（一財）エンジニアリング協会、（一社）海洋産業研究会、（一社）日本舶用工業会、
（一社）日本プロジェクト産業協議会（JAPIC）、（一社）次世代センサ協議会、
（一社）横浜港振興協会、（株）IHI、千代田化工建設（株）、東亜建設工業（株）、
日揮ホールディングス（株）、横浜港埠頭（株）、（株）横浜八景島、日本郵船（株）、
三菱重工業（株）、古河電気工業（株）、ジャパン マリンユナイテッド（株）、五洋建設（株）、
（株）オーシャンスパイラル、（株）セア・プラス、内閣府総合海洋政策推進事務局、
関東地方整備局（国土交通省）、関東運輸局（国土交通省）、横浜市

5　関連イベントについて

※詳細は添付のリーフレット参照

名称：**海に関する仕事紹介セミナー**
日時：令和元年 12 月 9 日（月）　13 時～17 時
場所：横浜市開港記念会館
参加企業・団体数：11 団体
内容：海洋分野の仕事について理解を深めるため、大学生・大学院生を対象に企業・団体からの業務紹介と個別相談会を実施します。

H30 年度のセミナーの様子

6　お問合せ・事前登録方法等

【海と産業革新コンベンション（うみコン 2020）】
特設ホームページ　http://umi-con.com/
【イベント内容のお問合せ先】
海と産業革新コンベンション実行委員会　事務局　電話：０４５－６６３－９１５１

※　取材について
会場の様子等、取材を希望される場合は、直接会場にお越しください。

お問合せ先
政策局政策課　担当課長　波多野　陽介　Tel 045-671-4172

入場方法

入場無料

うみコンのご入場には、事前申込みをお願いいたします。
お申込みはこちらから。[http://umi-con.com]
※シンポジウム、ビジネスマッチングイベントにつきましては、定員がございますのでご注意下さい。

会場フロアMAP

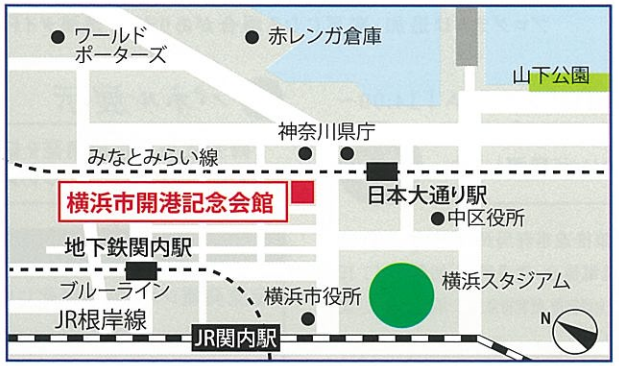
同時開催

D 第8回ブルーカーボン・シンポジウムin横浜

場所:9号室

「海洋」を舞台とした温暖化対策プロジェクト「横浜ブルーカーボン」の取組事例等を紹介します。

交通アクセス



横浜市中区本町1-6

- JR京浜東北線・根岸線「関内駅」南口から徒歩10分
- 市営地下鉄線「関内駅」1番出口から徒歩10分
- みなとみらい線「日本大通り駅」1番出口から徒歩1分

出展者一覧

IHI／宇津木計器／海洋研究開発機構<JAMSTEC>／関東地方整備局／キュー・アイ／SIX VOICE／水産研究・教育機構／スコットランド国際開発庁／セア・プラス／戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)革新的深海資源調査技術／東亜建設工業／東京大学生産技術研究所／ドコモCS／トリマティス／日揮グループ／古河電気工業/古河産業／マリン・ワーク・ジャパン／横河電機／横浜企業経営支援財団(IDEC横浜)／横浜市立大学／理研電具製造／和歌山工業高等専門学校／横浜市など(順不同)

主催:海洋都市横浜うみ協議会／横浜市／海と産業革新コンベンション実行委員会
協議会・実行委員会の構成企業・団体:海洋研究開発機構<JAMSTEC>／水産研究・教育機構／海上・港湾・航空技術研究所(海上技術安全研究所、港湾空港技術研究所)／海技教育機構<JMETS>／帆船日本丸記念財団／東京海洋大学<TUMSAT>／東京大学生産技術研究所／横浜国立大学／横浜市立大学／神奈川大学／エンジニアリング協会／海洋産業研究会／日本舶用工業会／日本プロジェクト産業協議会<JAPIC>／次世代センサ協議会／横浜港振興協会／IHI／神奈川新聞社／千代田化工建設／東亜建設工業／日揮ホールディングス／日鉄物産／日本政策投資銀行／横浜港埠頭／横浜八景島／日本郵船／三菱重工業／古河電気工業／ジャパン マリンユナイテッド／五洋建設／オーシャンスパイラル／セア・プラス／内閣府総合海洋政策推進事務局／国土交通省関東地方整備局／国土交通省関東運輸局／横浜市(順不同)
協賛:セア・プラス／マリン・ワーク・ジャパン／横河電機
協力:横浜企業経営支援財団(IDEC横浜)

お問い合わせ:うみコン実行委員会事務局 Tel. 045-663-9151

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

うみコン 2020

海と産業革新コンベンション

Ocean&Business Innovation Convention

横浜発! 対話と交流による新たな海洋産業の創出

詳しいプログラムは うみコン2020 検索
http://umi-con.com

日時 令和2年 **1.29** [wed]
10:00-17:00

場所 横浜市開港記念会館

入場無料

INVITATION

うみコンとは

最新の技術や情報を共有・融合し、海洋産業の振興・活性化につなげるため、研究やビジネスに携わる人が、一堂に会する場を目指し産官学の連携組織「海洋都市横浜うみ協議会」を中心に開催するコンベンションです。3回目となる今回は、会場を「横浜市開港記念会館」に変更し、シンポジウムを中心に、企業等からのパネル展示、さらにはビジネスマッチングイベントを開催します。
さまざまな関係者との交流やビジネスのきっかけ作りに、ぜひご来場ください。

海洋都市ヨコハマ

海と産業革新コンベンション Ocean&Business Innovation Convention

横浜発! 対話と交流による新たな海洋産業の創出

プログラムは追加・変更になる場合があります。講演タイトル、講師・発表者、スケジュールなどの**最新情報はHPでご確認ください。**

A シンポジウム 定員400名

●基調講演｜10:30～ ●3国研シンポジウム｜14:00～

講堂

海洋に関する政策・研究・技術開発などの今後の展望について、キーパーソンが登壇します。

我が国の海洋政策について(仮) 内閣府総合海洋政策推進事務局長 平垣内 久隆 氏

日本における洋上風力発電の役割 一般社団法人日本風力発電協会 代表理事 加藤 仁 氏

海上技術安全研究所における洋上風力発電への取組み 海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所 研究特命主管 黒岩 隆夫 氏

3国研シンポジウム

海洋分野において**我が国を代表する3つの国立研究開発法人**から、ビジネスの種となる最新の研究内容の発表を行います。また、講演後は、講演者と直接意見交換ができるエクスチェンジミーティングを行います。

［コーディネーター］横浜国立大学統合的海洋管理学研究拠点長 中村 由行 氏

海中ロボティクス(仮)
海洋研究開発機構 研究プラットフォーム運用開発部門 次長 永橋 賢司 氏
海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所海洋先端技術系 水中ロボティクス研究グループ 研究員 佐藤 匠 氏

船舶に関する最新技術の紹介(仮)
海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所 流体設計系 流体制御研究グループ 主任研究員 一ノ瀬 康雄 氏
水産研究・教育機構 水産工学研究所 漁業生産工学部 部長 高尾 芳三 氏

水産海洋センシングとAIによる漁場・海況予測(仮)
水産研究・教育機構 東北区水産研究所 資源環境部 部長 栗田 豊 氏
海洋研究開発機構 地球環境部門 特任技術副主任 田中 裕介 氏

3国研のご紹介 海洋研究開発機構 海上・港湾・航空技術研究所 水産研究・教育機構

B ビジネスマッチングイベント 定員80名

●企業・団体からの発表｜13:00～ ●個別相談会｜15:30～

6・7号室

出展企業等とのマッチングの場を提供し、新たな海洋産業の創出につながるイベントを行います。
事前登録時に発表企業・団体との個別相談会の面談予約ができます。

IHIの海洋事業への取り組みと技術展望 IHI

水中音響測位システム-小型水中ドローンのための新技術 SIX VOICE

自律型小型電動無人観測艇による自動深浅測量に向けて! セア・プラス

革新的深海資源調査技術について 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)革新的深海資源調査技術

海洋環境の見える化「ICTブイソリューション」 ドコモCS

新たな海洋市場創出を試みる水中光無線技術のご紹介 トリマティス

持続可能な海利用における地域社会との調和を目指した環境技術 マリン・ワーク・ジャパン

風力発電設備等における診断機能の研究開発(仮) 横河電機

自然エネルギーだけで吸水性/脱水性が入れ替わる高分子材料 横浜市立大学:本多 尚 氏

海の創薬「マリン ドラッグス」と糖鎖・レクチン 横浜市立大学:大関 泰裕 氏

C パネル展示

●ポスターセッション｜12:00～13:00／16:00～17:00

1号室

研究成果や技術開発を紹介したパネルを展示します。来場者と直接コミュニケーションがとれるように、ポスターセッションの時間を設定します。

展示タイトル／団体名	
海流発電システム実用化に向けた取り組み IHI	水域・陸域における3次元計測の現状 セア・プラス
船舶・海洋構築物のモニタリング・制御システム 宇津木計器	深海資源探査技術開発への取り組み 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)革新的深海資源調査技術
JAMSTECスパコンの産業利用 海洋研究開発機構	大水深における無人化施工を可能とする水中作業ロボット技術 東亜建設工業
風と流れのプラットフォーム 海洋研究開発機構	海中観測実装工学研究の展開 東京大学生産技術研究所
高視野角カメラとヘッドマウントディスプレイを用いた深海映像のリアルタイムモニタ 海洋研究開発機構	海洋環境の見える化「ICTブイソリューション」 ドコモCS
マリンデブリデータと海洋データ連携 海洋研究開発機構	新たな海洋市場創出を試みる水中光無線技術のご紹介 トリマティス
海洋ロボティクス開発に必要な要素技術を国産で! 海洋研究開発機構	Floating LNGの建造状況 日揮グループ
高速水中音響通信装置の量産化と展開 海洋研究開発機構	ライザーパイプの取り組み／ドローンによる水中インフラ点検 古河電気工業／古河産業
環境問題待ったなし!環境計測技術を国産で!! 海洋研究開発機構	持続可能な資源利用を目指した海洋・地球観測技術の提案 マリン・ワーク・ジャパン
JAMSTEC賛助会 海洋研究開発機構	風力発電設備等における診断機能の研究開発(仮) 横河電機
壁面調査機搭載水中ドローンステレオカメラによる魚自動測定 キュー・アイ	横浜企業経営支援財団(IDEC横浜)の取組について 横浜企業経営支援財団
関東地方整備局の取り組み 国土交通省関東地方整備局	自然エネルギーだけで吸水性/脱水性が入れ替わる高分子材料 横浜市立大学:本多 尚 氏
水中協働ロボット-進化を続ける産業用水中ドローン SIX VOICE	海の創薬「マリン ドラッグス」と糖鎖・レクチン 横浜市立大学:大関 泰裕 氏
水産研究・教育機構の施設配置と船舶 水産研究・教育機構	HYDROグループ 水中コネクタ・水中ケーブルのご紹介 理研電具製造
SH"U"N(しゅん)プロジェクト 水産研究・教育機構	紀伊半島における海洋研究の取り組み 和歌山工業高等専門学校
ブルーエコノミーとエネルギートランジション スコットランド国際開発庁	横浜市の各種取組について 横浜市

海洋分野の企業・研究機関のセミナー&現場見学会［参加無料］

海に関する仕事紹介セミナー in 海洋都市横浜

日時 令和元年 **12月9日㈪ 13:00～17:00**

対象 **就職希望の大学生・大学院生** 先着80名

内容 **企業・団体紹介セミナー、個別相談会**

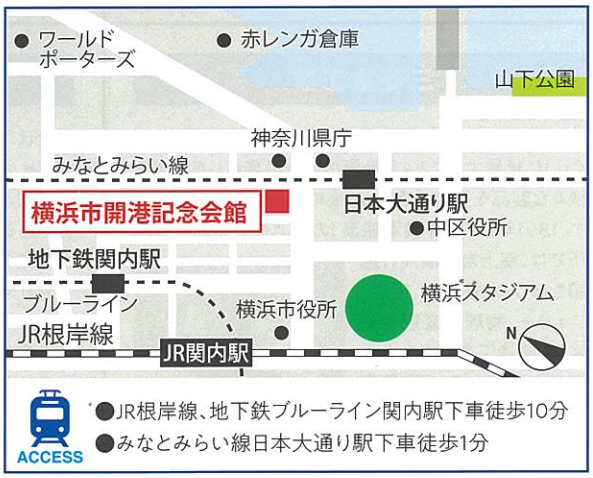
企業・団体による業務紹介、個別相談会を通じて、海に関わる分野の仕事について知り、選択肢を広げる機会となります。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

【紹介企業・団体】 海洋研究開発機構（JAMSTEC）、水産研究・教育機構、ジャパンマリンユナイテッド、セア・プラス、東亜建設工業、日本郵船、三菱重工業、横浜港埠頭、横浜八景島、国土交通省関東運輸局、国土交通省関東地方整備局
（以上、計11企業・団体）

詳細は裏面をチェック!!! ☞

現場見学会 申込・詳細はHPへ　**希望制** ①・②両コース申込できます。各先着20名

場所 **横浜市開港記念会館**
（横浜市中区本町1-6）



コース	見学企業	日　時	内　容
①	国土交通省関東地方整備局	12月9日㈪（9:40集合／11:45解散）	船上からの横浜港の港内見学
②	東亜建設工業	12月13日㈮（12:10集合／17:20解散）	●海上土木現場：工事概要説明、現場見学、仕事説明、質疑応答 ●技術研究開発センター：施設概要説明、研究・実験施設見学・質疑応答

申込手続等

申込期限：令和元年12月2日㈪17:00まで

「海洋都市横浜うみ協議会」特設HPよりお申し込みください。
http://yokohama-umi.jp/seminar/

・本セミナーへの参加の有無は、採用試験の合否には一切関係ありません。
・お申し込みされた方には、受付完了後、参加の可否・詳細を別途御連絡いたします。

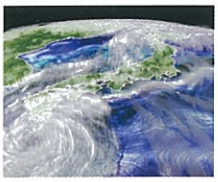
主催：海洋都市横浜うみ協議会／横浜市

お問合せ　海に関する仕事紹介セミナー事務局
（株式会社旭広告社）
TEL 045-681-2834（糸口）平日9:00～17:30
Mail umi-job@yokohama-umi.jp

<ご紹介する11企業・団体について>

海洋研究開発機構（JAMSTEC）

国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）は、日本で唯一の海洋に関する総合的研究開発機関として、海洋から地球の謎に迫るための幅広い研究開発を推進するとともに、その成果を社会に還元していくことを目指しています。海底資源、生命の起源、地球規模の環境変動、巨大地震発生のしくみ、地球表層や地球内部の様々な現象など、人類の未来を開くために世界最先端の研究と技術開発を推進していきます。



水産研究・教育機構

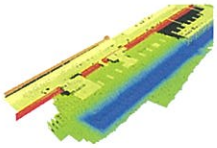
水産研究・教育機構は、横浜市の本部を中心に北は北海道から南は石垣島まで全国に9つの研究所、開発調査センター、水産大学校と8隻の調査船、2隻の練習船を擁し、常勤の職員約1,200人が働いている我が国で唯一の水産に関する総合的な研究開発・教育機関です。水産資源の評価と管理技術、海洋環境と変動把握、増養殖技術、安全・安心で高機能な水産物の利用、港湾や船舶などの水産工学等、水産に関わるすべての分野を網羅する研究開発、水産業を担う人材の育成などを行っています。

ジャパン マリンユナイテッド

ジャパン マリンユナイテッドは、「日本の造船連合として、世界の造船業のリーディングカンパニーをめざす」という目標のもと、アイ・エイチ・アイ マリンユナイテッドとユニバーサル造船が2013年に統合して生まれた造船会社です。強力な営業力、設計・開発力を活かし、タンカー、コンテナ船、海洋構造物などお客さまのニーズに高いレベルでお応えしてきました。横浜事業所では、護衛艦、観光遊覧船、保安庁船、フェリー等、バラエティ豊かな船を建造し続けています。

セア・プラス

株式会社セア・プラスは、全国の港湾・海岸・ダム・河川等の工事計画や、インフラ整備等に必要な基礎資料となる計測を中心に業務を実施している会社です。国交省推進のi-Constructionに向けマルチビーム測深を主とした海底地形調査とUAV写真測量、UAV搭載型3D LiDARでの3次元データの取得・解析により計測困難であった部分を可能にし、水底から陸域へのシームレスな3D地形調査が可能となります。近年は、毎年起きる自然災害の被災状況把握や災害復旧・復興、インフラ整備に伴う支援調査という形で社会貢献に携わっております。今後も引き続き、3機のマルチビーム測深機と3機のUAV、更に無人自動航行電動ボート搭載型マルチビーム測深により浅海域調査を海外も含め、全国を計測します。



東亜建設工業

東亜建設工業は1908年（明治41年）、浅野総一郎による創業以来、堅実な経営と高い技術力でウォーターフロント事業のパイオニアとして走り続けてきました。港、空港、物流拠点、エネルギー施設、発電所など、人々の生活や産業を支える多くの大規模建設プロジェクトに携わり、国内・海外から高い評価を頂いています。技術の極みを追求しながら環境と調和したインフラ整備を目指し、これからも「人」と「技術」で世界での発展を目指します。

日本郵船

あなたの一日を振り返った際、電車や冷蔵庫、バナナや魚・牛肉等がない生活をイメージできますか？日本の輸出入貿易の9割以上が300メートルを超える大型船舶によって海上輸送されており、NYK（日本郵船）は700隻以上の多様な船舶を運航して人々の暮らしを支え続けています。更にNYKはMore than Shippingをキーワードに、陸海空を跨いだ総合物流、海洋事業やDigitalization事業も展開しています。全ては人々の生活に価値を届ける為。"Bringing Value to Life"

三菱重工業

三菱重工グループは、時代に先駆けた新しい「ものづくり」に挑戦することで、世界の人々の暮らしを支える様々な製品を提供し続け、社会の発展に貢献しています。1891年設立の「横浜船渠」の流れをくむ横浜製作所では、海上自衛隊向け艦船をはじめ、貨物船、客船、フェリー、物理探査船等の修理、改造工事等を中心に事業を展開しており、最先端技術を駆使して安全かつ快適な市民生活を送るために必要なインフラ維持の一翼を担っています。

横浜港埠頭

当社は、前身の京浜外貿埠公団や横浜港埠頭公社の時代より、約50年間にわたり、国際物流拠点「横浜港」の運営管理という公共性の高い事業を担っています。総合港湾である横浜港は、コンテナ貨物をはじめ自動車や鋼材など様々な貨物を取り扱っており、日本の物流の大動脈となっています。一方で、昨今発展著しいアジア諸港に負けない"選ばれる港"であり続けるため、国際競争力強化を図るべく、横浜港の機能強化等に積極的に取り組んでいます。

横浜八景島

横浜八景島は、1993年開業の総合レジャー施設「横浜・八景島シーパラダイス」をはじめ、「マクセルアクアパーク品川」、「仙台うみの杜水族館」、「上越市立水族博物館 うみがたり」など日本各地でエンターテインメント施設を運営しています。また2020年には、日本の水族館事業者として初めて海外（台湾）に水族館を開業させる予定です。これからも当社は、持続的な発展・飛躍のために新たな挑戦をし続けます。

国土交通省関東運輸局

国土交通省関東運輸局は、関東1都6県及び山梨県において、安全・安心・便利で環境にやさしい交通の実現と観光による地域の活性化に向けて、安全・安心な交通、大規模災害時の対応、交通利用者利便の向上、地域公共交通の確保・維持、観光振興による地域の活性化、高齢者・障害者等にやさしい交通の実現、効率的で競争力のある物流対策、環境に配慮した交通の確保等に取り組んでいる行政機関です。海事行政においては、技術系職員が船のエキスパートとして、船舶の海難事故や海洋汚染を未然に防ぐため、日本船舶についての構造や設備の検査、我が国に入港する外国籍船についての船舶の安全・環境及び船員資格に関する国際条約の適合性に関する検査や、海事分野の指標である総トン数の公正な算定等を実施しています。

国土交通省関東地方整備局

資源小国であり貿易立国でもある我が国は、国民生活の安定や経済の健全な発展のために、先進的で信頼性の高い人流・物流のインフラ整備、貿易のネットワーク拠点の整備を進める必要があります。国土交通省関東地方整備局では、我が国の国際競争力を高めるために、関東の港湾・空港の整備を進めるとともに、安心かつ豊かでうるおいのある港づくりを目指しています。

うみコン 2020

海と産業革新コンベンション

～横浜発!対話と交流による新たな海洋産業の創出～

令和2年
1.29 [wed] 10:00-17:00

入場無料

場所　横浜市開港記念会館

プログラム
①シンポジウム
②ビジネスマッチングイベント
③パネル展示

詳しいプログラムは　うみコン2020　検索

http://umi-con.com/